ゆりのきっ子

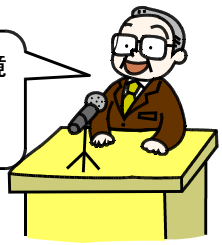
平成 31 年度
松橋小学校
学校便り　第３号
文責　校長　岩村　浩一

こんな学校をめざします

松橋小学校２年目となりました。昨年の成果と課題を踏まえ、さらに頑張りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

年度当初にあたり、最も大切なことは『目標の確認』だと考えます。

私の経営方針を端的にご説明申し上げます。



＜学校経営の理念＞

◇教育の基は指導者の熱意にあり
◇教育の成果は児童の姿勢にあり
◇教育の真価は児童の立志にあり
　を肝に銘じ、和を尊び成果が出るまでかかわる教職員集団づくり
をもとに、個性に満ちた『石垣型』全員レギュラーの学校づくりを目指します

＜目指すこども像　３つの日本一＞

〇笑顔日本一　　〇あいさつ日本一　　〇根気日本一

＜子どもたちに育成したい資質や能力＞

〇あきらめずやり抜く力　〇言葉を通じて伝え合う力　〇自学力（家庭学習）

私の学校経営の中心に座るのは、校長の私ではありません。児童の皆さん一人一人です。松橋小学校の児童に補欠はいません。全員レギュラーの学校を目指すのです。

レギュラーとは、勉強やスポーツが上手な人ということではありません。

レギュラーとは出番のある人のことです。多くの児童が自分の出番を見つけ、生き生きと学校生活を送ってほしいという願いがあります。

4月のイメージ

４月は「リセット」としています。

すべての学年が学級を変え、新たな１年をスタートしました。不安な児童もいたと思いますが、新たな出会いを前向きに受け止め、ある意味「たくましさ」も身に付けてほしいと思います。

さて、例年のごとく、泣きながら登校してくる１年生がいます。１日１日自分に根を伸ばし、じきに元気なあいさつができる日がくることでしょう。

笑顔の日が楽しみです。ここにも、本校が目指す子ども像があります。

～あいさつ日本一を目指す～

初任以来あいさつ運動を続けています。初任校でお世話になった生徒指導の先生と約束したのがはじまりです。当時は「生徒指導」が目的でした。怖い顔をしてあいさつ運動をしていたと思います。

４０代になると「声かけ」「生徒理解」が目的となってきました。

何のためにあいさつ運動に立つのか？

児童も教師も地域も、そのことを考える必要があると思います。

